

現存書

中隊長以下 一五三名

士身留

日曜日

位置

曇天

命令

喜融系

命令

守作命第八九號

國頭支隊長 隊命令

十二月二十四日一三〇

一我潜水艇情報ニ依テ敵機動部隊ヲシキセ、二十三日一四、三〇

頃那覇基長一五六度、三七五哩ヲ西進中ニシテ、津西諸島

全地ニテ号戦備下令セラル

ニ支隊ニテ号戦備ヲ実施セントス

三各隊ニ軍需品ノ分散遮蔽ヲ確実ニ実施シ、特ニ早朝時ノ

射撃警戒ヲ嚴ニスヘシ

四余ハ伊豆味支隊本部ニ在リ

余報

國頭支隊長

宇土大佐

一爾今兩号戦備以上ニ移行シ、場合ニ謀諾号音ノ喇以鳴奏ヲ

停止スルニ付承知セラル度シ、(警報下開違ト做ルニ付)

二十有于六日兵部山佐藤部隊本部ニ控テ九九式輕機普及教育ヲ實施

施ス、佐藤部隊、勤務ニ支障ヲ生致下セシ

服裝、製菓等ニテ筆記出カ行

一八、三〇日中隊長會議實施、十五、〇〇終了ス

ニ全員ヲ以テ午一〇時中止余、儀裝ヲ行シ、午後陸地橋架ヲ實施

三甲斐准尉、事務打合、為伊豆味ニ出張一八、〇〇歸隊ス

四部隊衝突、中村上等兵以下六名

中隊長以下 一五三名

現存書

士身留

月曜日

位置

晴天

命令

車中日誌

位置  
命令

善約原

佐作命第四七號

第二大隊命令

十二月二十五日  
英部山本隊本部

- 一 十二月五日國領支隊丙号戰備ヲ解除セラル
- 二 十二月五日佐作命第八号ニ依リ九七式四射火砲五門配備セラル
- 三 大隊ニ右火砲ヲ受領シ去上共ニ教育訓練並陣地ヲ準備シ守備ノ強ヒヲ附セントス
- 四 第三隊團統中隊長ニ十月二十五日九七式四隊本部ニヨリ同火砲ヲ受領シ去上取扱並ニ所要ノ教育訓練ニ任スル
- 五 右火砲取扱修業ヲタテ各中隊ヲ各下士官一員七ヲ十二月二十五日中會後第二隊團統中隊長ニ送付シ同中隊長ニ受領ヲ指示スル
- 六 此ニ服裝其他細部ニ関シハ副官ヲシテ指示セシム
- 七 大余ニ英部山本隊本部ニ在リ

第二大隊長 佐藤少佐



中隊命令

|             |            |
|-------------|------------|
| 一 隊隊長 富山清雄  | 隊第一等兵 仲原盛助 |
| 同 上等兵 大城銀正  | 同 村山清忠     |
| 同 富山清光      | 同 照屋林常     |
| 同 第一等兵 長反勇忠 | 同 金城泰吉     |

右四射火砲取扱修業ヲ本隊ニヨリ會後第二隊團統中隊長ニ送付シ同中隊長ニ指示ヲ受ケル

十二月五日英部山本隊本部ニ於テ九九式輕機普及教育實施ヲシテ付勤務ニ支障ナキ將校下士官ハ同時刻進集會スル

十二月六日九〇〇号三年式銃剣ノ不足ヲ支給スルニ付各隊兵器係下士官ハ八五〇号印鑑持參佐藤部隊本部ニ集會シ受領セラル

九九式輕機関銃普及教育ヲ各中隊ヲ九〇〇号近隊

會報

本部ニ携行セラレタリ

一八九九式輕機関銃 二銃

二眼鏡 痛品古懐 手入共懐 逆彈卷 逆二枚巻

三九九式輕機関銃普及教育爲此、各中隊將校此三銃中研

ヲ修シ善兵器操下士官、全員ハ勤務ニ充テハキ下士官成大

多數ト目下百九〇道ニ部隊本部前ニ集會スハシ

眼鏡、軍獨ノ軍裝ニシテ各自飯盒並ニ所要ノ筆記具携行スハシ

一全員陣地構築ヲ業テ實施

一四〇〇ノ中隊長室ヲ下士官以上集會諸事項打合セリナシ

一六〇〇終了ス

一富山伍長以下八名出射方兵器修業、爲ニ概ニ分遣ス

一夜間操習ノ實施 一五時終了ス 傳令、動作

會 現在員

其他

土曜五日 火曜日

氣象 曇天

位置 喜納原

其他 一八九九式輕機関普及教育爲此、下士官以上本部集會一五時終了ス

二中隊一陣地構築ヲ業テ一五時終了ス

三三式銃剣不整トナリ七個ヲ檢ス

四部隊衛兵 連川兵營以下六名

一四〇〇ノ中隊長室

會 現在員

土曜五日 水曜日

氣象 曇天

位置 喜納原

命令 中隊命令

附録 八日第一回ノ下士官操習ヲ本部在野營ニ移シ實施セリ



其他

全盛九〇〇直陸務室三集今又ハシ

中隊長九〇〇五廿九隊地配務ノ定ニ陣取便務ヲナシ

中隊長九〇〇五廿九隊地配務ノ定ニ陣取便務ヲナシ

中隊長九〇〇五廿九隊地配務ノ定ニ陣取便務ヲナシ

倉庫

木曜日

晴 天

喜報系

中隊命令

陸軍衛生兵上等兵 奥沢 真他

右直陸務室右以同一等兵五名 明日九日等三日ノ下

會報

復唱 復命

其他

一九〇〇本部陸務室ニ於テ第三四等隊指揮ヲ受ケ

中隊長九下一四五在

倉庫

全曜日

喜報系

中隊命令第九三號

陸軍衛生兵上等兵 奥沢 真他

一隊隊員等直陸務室ニ於テ三〇〇下陸務室ヲ命ズ

車中 日誌

三各隊、村端村空監視ノ三嚴トシテ博ニ集時ニ於テハ故ノ奇襲  
ニ備フヘシ

四余ハ何意味隊本部ニ在リ

副頭文隊長

宇土大佐

佐日命

陸軍衛生上等兵

奥沢英地

右正院書者妻領ノタメ本ヲ九日ヨリ二日ヨリ三定ヲ以テ球ノ第

一八八〇三部隊ニ至テノ命ス

陸軍中曹

田代寅松

同 兵長

比嘉 第 德

同

比嘉 平 壹

右金五郎、為明平日、即日帰隊、三定ヲ以テ羽地村ニ至テ命ス  
中隊司令

陸軍中曹

田代 寅松

陸軍兵長

比嘉 第 德

同

比嘉 平 壹

右川平、金五郎、為同日、帰隊、三定ヲ以テ羽地村ニ至テ命ス

十一月三十日

前田中尉

中村軍曹

高名 越 上等兵

同 十一月

田邊准尉

坂本 兵長

上 地 上等兵

一月一日

前田中尉

余前 兵長

安藤 名 上等兵

二日

田邊准尉

植久 軍曹

上 地 上等兵

三日

前田中尉

中村 軍曹

古 堅 上等兵

四日

田邊准尉

坂本 兵長

宮 成 上等兵

五日

前田中尉

余前 兵長

翁 志 上等兵

右頭書、白刺ニ曰、直勤務ニ服務スヘシ

其他

一、倉岡陣地掃蕩ヲ作業ナシ、其地ス

二、奥津衛生上等兵ハ、内閣一等兵ヲ委嘱、為球六八三部隊ヲ張ス

三、村端村端監視、上嘉高上等兵、米田石

車中目録

○會

現在員

渡川兵長以下四名

長峯上等兵以下四名

中隊長以下一四五名

十二月十日

土曜日

氣象

曇天

位置

喜多野原

命令

佐作命第四八號

第四大隊命令

一三三〇二〇〇

敵機動部隊追撃、彼等は九日三〇〇丙号機隊

命令云々

二各隊は連日号機隊を移行し對母村空監視し至晨十時

共ニ進取ニ注意し特ニ黎明時ニ於テハ敵ノ方機ニ備フ

三各隊ノ身也備案作業ハ所定ノ日未迄ニ概成ニ月未上ニ

土ガ完成ノ期ニ於テハ計畫ニ従フ

四余ハ兵部山大隊本部ニ在リ

第四大隊長

佐藤少佐

會報

一月十日ノ情況、許限ノ一般ニ休務ニシテ敵軍破滅ノ元且ヲ尤モ

責義アラザルニ如ク各隊ニ於テ直當ニ行事ヲ實施ス

二月九日ヨリ佐藤部隊本部ニ於テ對空射撃教育ヲスルニ付本部

隊本部佐藤部隊清書隊別隊ハ勤務支障ナキ將校以下二名

ハ全員ニ分ルニシ

其他

一全員前日引續キ陣地掃蕩作業ヲ實施

二部隊併合、喜連武兵長以下六名

監視哨、城間主兵以下四名、幸地上等兵以下四名

中隊長以下一四五名

全隊上等兵以下四名

○會

現在員

十二月十日

日曜日

車中三士志



象 景天  
 位 喜細原  
 命 佐作命第五〇號

第二大隊命令

一 救隊動部隊近接ノ算ナキニテ以テ本日一〇〇〇時西諸島全  
 地区ノ西諸島戦備ヲ解除セラル  
 二 大隊丁號戦備ノ態勢ニ移行セントス  
 三 大隊十月三十日宇作命第九五号ニ基キ西諸島戦備ヲ解除  
 セラレタニ年来年也ノ態備ヲ特ニ強化セントス  
 四 各隊ノ防空海ノ警戒ニ厳ニスヘシ  
 五 各隊毎二日三日正衛兵ノ増加ニ等シテ備フルト共ニ軍  
 需品ノ分散貯蔵施設難予防火火災ニ注意スヘシ  
 六 各隊長一三日正毎日九〇〇上ニ結果ヲ報告スヘシ  
 七 各隊將校トシテ丸記ノ通り是レノ陸地以内ノ取締警戒ヲ嚴

丸記

一 月 日 志垣隊ヲ將校一  
 二 月 日 平山隊ヲ將校一  
 三 月 日 清木隊ヲ將校一  
 細部ノ訓ニテ副官ヲシテ指示セシム  
 七 余ハ兵部山大隊本部ニ在リ  
 第二大隊長 佐藤少佐

命令

一 陸軍軍曹 戸高 武義  
 二 給二等級 (十月三十日附) 陸軍一等兵 玉城 寛  
 三 右無線通信手ノ命人 陸軍一等兵 吉元 為彦

軍部 十月 十日

